

# ハンドシャワー付 シングルレバー混合水栓

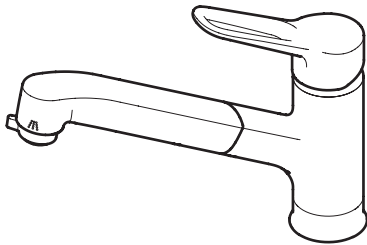
RSF-932Y 型

RSF-933Y 型

上記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。  
品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

## 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。  
お読みになったあともすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に記載されている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

### 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入のうえ、お客さまに必ずお渡しください。  
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 商品概要 .....	1
■ 安全上のご注意 .....	4

■ ご使用方法 .....	10
■ 凍結のおそれがある場合 .....	13

■ 日常のお手入れ .....	16
■ 定期的なお手入れ .....	21
■ 定期的な部品交換のお願い .....	23

■ 修理を依頼される前に .....	24
■ アフターサービスについて .....	28

# 商品概要

切替ユニットで簡単操作⇒ P.12  
整流とシャワーを切替できます。

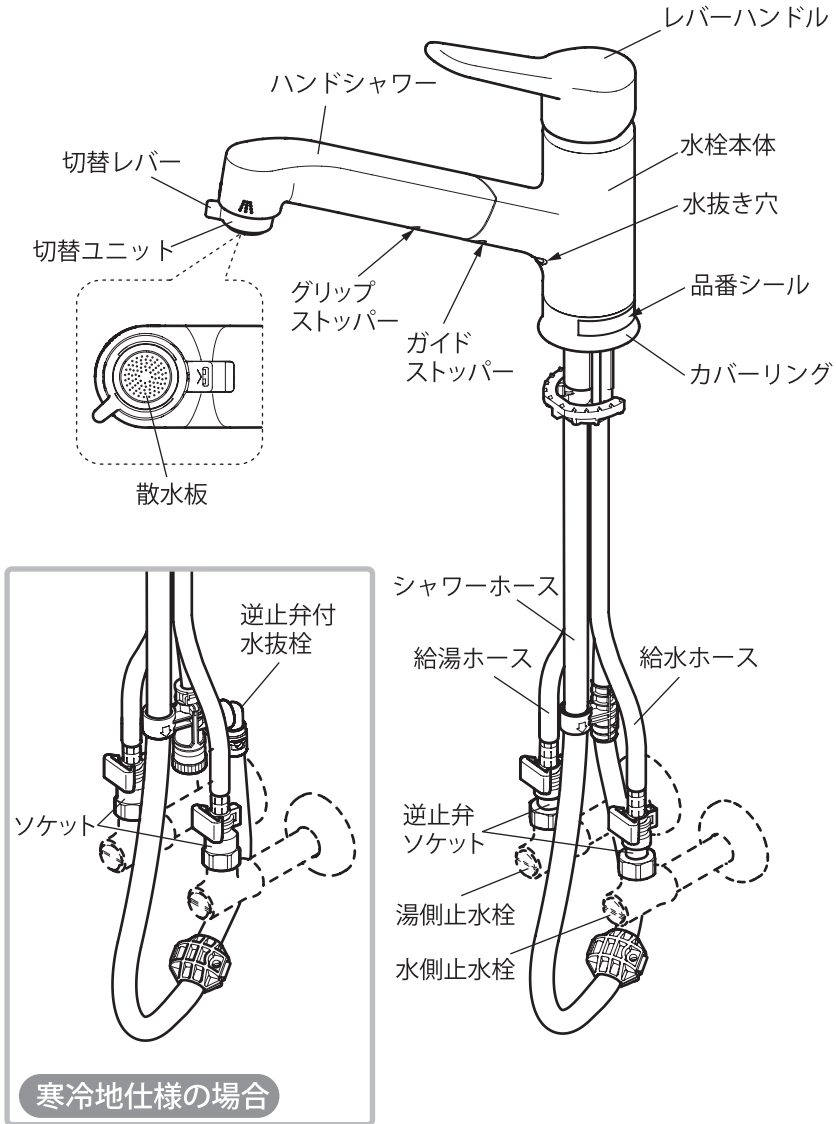
レバーハンドル⇒ P.10  
温度と水の量を簡単に調節  
できます。

引き出して使えるハンドシャワー

## こんなときは

水や湯が出ない	ストレーナーや散水板をお掃除しましたか？	P.17 P.22
	止水栓が閉まっていませんか？	P.27
レバーハンドルの操作が重い	ご使用していただく間（0～6カ月程度）に、内部の部品がなじむ現象で故障ではありません。	—
その他のお困りごと	「修理を依頼される前に」をご確認ください。	P.24

# 各部の名称



はじめに

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## ご使用前に

### ●給湯機器と組み合わせてご使用の場合

安全のため給湯機器の設定温度は60℃以下にしてご使用ください。

※不意に熱い湯が出てヤケドをするおそれがあります。

#### 【ガス給湯器をご使用の場合】

- 湯の流量が少ないと、給湯器の運転に必要な流量に満たず、給湯器が点火しない場合があります。このときは、止水栓もしくは水栓のレバーハンドルを開き、流量を増やしてください。
- 夏季など水道水の温度が高いときは、給湯器が点火しない場合があります。このときは、給湯器の設定温度を少し上げて試してください。

給水温度は季節によって一定ではありません。夏は水温が高く、冬は水温が低くなります。






#### 【瞬間湯沸かし器をご使用の場合】

- 季節や用途に合わせて、設定温度や能力を切り替えてご使用ください。
- 給水圧力が低いときは、湯沸かし器が点火しない場合があります。給水圧力をご確認ください。

# 安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

## 用語および記号の説明





<b>警告</b>	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
<b>注意</b>	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
 (禁止)	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
 (分解禁止)	「分解してはいけません！」
 (接触禁止)	「指示した場所には触れてはいけません！」
 (指示)	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告：ヤケドをしないために



 (禁止)	小さいお子さまだけでのご使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	湯をご使用のときは、他所の水栓と同時に使用しないでください。 ※圧力変動により湯温が上昇し、ヤケドをするおそれがあります。	
 (禁止)	給湯器の設定温度は 85℃より高温にしないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※ヤケド防止のため、給湯器の設定温度は 60℃をおすすめします。	
 (禁止)	高温の湯をご使用の直後は、浄水カートリッジの取り付けや交換をしないでください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (接触禁止)	高温の湯をご使用のときは、吐水口やホースが高温になっていますので、直接触れないでください。 ※ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	高温の湯をご使用のあとは、水栓内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にして閉めてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	湯をご使用のときは、必ず水を出したあとに、ゆっくりと温度を調節してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	ご使用になる前に、必ず素手で適温であることを確認してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	給水圧力 ≥ 給湯圧力 

はじめに






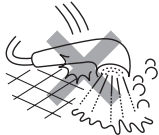
**⚠ 警告：ヤケドをしないために**

 (禁止)	<p><b>【寒冷地の場合】</b>                  水抜栓は、水抜き以外の目的で開けないでください。                  ※高温の湯が出てヤケドをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害が発生したりするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>定期的にごガツキがないか確認してください。                  ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

**⚠ 警告：正しくご使用いただくために**

 (分解禁止)	<p>修理技術者以外の方は絶対に、分解したり、修理・改造したりしないでください。                  ※ケガや、故障・破損のおそれがあります。</p>	
--	--	--

**⚠ 注意：正しくご使用いただくために**

 (禁止)	<p>水を飲むときは、水の出口に直接口をつけないでください。                  ※ケガをするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>毎朝ご使用になる前に、約 10 秒間水を流してください。                  ※水道水が水道管の中に長い時間滞留していると、使用している水道管の種類にもよりますが、水道水に臭いが付くことがあります。また、長時間水道を使用しないと、水道水中の残留塩素が無くなる場合があります、不衛生になります。</p>	<p>毎朝  使用前に約 10 秒間通水</p>
 (禁止)	<p>ハンドシャワーを落としたり、ぶついたりしないでください。                  ※キズがつき、ケガをするおそれがあります。                  ※衝撃で破損し、漏水や故障の原因となります。                  ※周囲の物が破損し、ケガをするおそれがあります。                  ハンドシャワーにキズがついた場合は、LIXIL 修理受付センターに修理、交換を依頼してください。有料修理にて承ります。</p>	

▲ 注意：正しくご使用いただくために






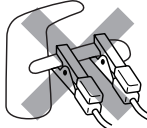
 (指示)	めっきのハガレはそのまま放置せずに、修理依頼をしてください。 ※はがれためっきやキズでケガをするおそれがあります。修理依頼は取付店（または販売店）または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。	
 (禁止)	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水、故障の原因となります。	
 (禁止)	水栓に勢いよく水をかけないでください。 ※水抜き穴やハンドシャワー引出口、本体の継ぎ目などから水が浸入し、製品の故障や家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (禁止)	シンクやボウルの外に吐水しないでください。 ※家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (禁止)	ハンドシャワーを強く引っ張るなど、無理な力を加えないでください。 ※シャワーホースが破損し、ケガや漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (禁止)	キャビネット内の物を出し入れするときは、ホースに引っ掛けるなど無理な力が加わらないようにしてください。 ※ホースの外れや損傷による漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (指示)	ハンドルはゆっくり操作してください。 ※ハンドルを急に閉めると配管に衝撃が加わり、配管の損傷による漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (指示)	断水時はレバーハンドルを必ず「止水」の位置にしてください。 ※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (指示)	定期的に、配管まわり（キャビネット内、点検口内など）の漏水がないか確認してください。 ※漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

はじめてに

▲ 注意：正しくご使用いただくために

 (禁止)	水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、漏水、故障の原因となります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の 水質基準に適合する水をいいます。	水道水のみ OK 
 (禁止)	吐水口先端に重い物を下げたり、力をかけたりしないでください。 ※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因 となります。	
 (禁止)	水の出口をふさいだ状態で使用しないでください。 ※家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※水栓各部からの漏水や給湯機器への逆流のおそれ があります。	
 (禁止)	止水機構を持った浄水器は、取り付けないでください。 ※水栓各部からの漏水や給湯機器への逆流のおそれ があります。 ※水の出口に浄水器を取り付けると、パッキン類が摩 耗し、耐久性が低下することがあります。	
 (指示)	日頃から、ときどき吐水口を動かしてください。 ※水アカなどが付着し動きにくくなります。無理に動 かそうとすると、漏水の原因となります。	
 (禁止)	ハンドシャワーを貯めた水に浸けないでください。 ※汚水や雑菌などが水栓内部に浸入するおそれ があります。	
 (指示)	水の出口は常に清潔な状態を保つよう心がけてくださ い。特に跳ね返りなどで汚れが付着した場合は速やか に掃除してください。 ※残留塩素を除去しているため雑菌が繁殖しやすくな り、体調を損なうおそれがあります。	
 (指示)	水の出口の掃除は、週に 1 回程度、熱湯消毒などをし た清潔な歯ブラシなどで行ってください。 ※残留塩素を除去しているため雑菌が繁殖しやすくな り、体調を損なうおそれがあります。	

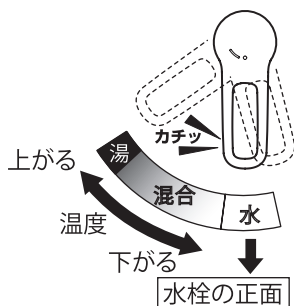
**⚠ 注意：凍結防止のために**

 <p>(指示)</p>	<p>凍結のおそれがあるときは、本誌内「凍結のおそれがある場合」をご参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください。寒冷地の場合は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。</p> <p>※凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>※凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。</p>	
 <p>(指示)</p>	<p>凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。</p> <p>※水栓が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。配管部などに保温材を巻いてください。</p> <p>※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。</p>	
 <p>(禁止)</p>	<p>解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>※水栓が発熱して破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

# ご使用方法

この水栓は、よく使う正面のハンドル位置で「水」を出す省エネ設計です。湯を無意識に使うことがなく、無駄な給湯エネルギーをしません。

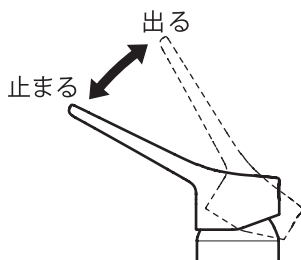
## 温度の調節



レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へまわすと、しだいに温度が上がります。

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

## 水を出す・止める・流量を調節する



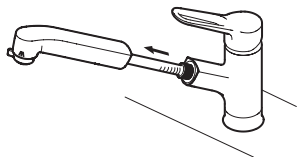
レバーハンドルの上げ具合で、水が出る量を調節できます。レバーハンドルがどの位置であっても下げると水が止まります。

レバーハンドルはゆっくり操作してください。水を止めたときに『ドン』と音がするウォーターハンマー現象が発生する場合があります。

レバーハンドルの操作が、使い始めより重くなる場合があります。

※ご使用いただくうちに(0～6ヵ月程度)、内部の部品がなじむ現象で、故障ではありません。

## ハンドシャワーの引出し



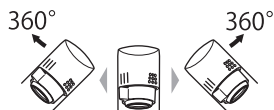
ハンドシャワーは引き出して使用できます。



ハンドシャワーが収納しにくいときは、シャワーホースに手をそえてください。

寒い時期、ハンドシャワーの出し入れが固いときは、しばらくの間、湯または水を通水すると、入りやすくなります。

## 吐水角度の調節



ハンドシャワー部は納めたままで 360° 回転します。

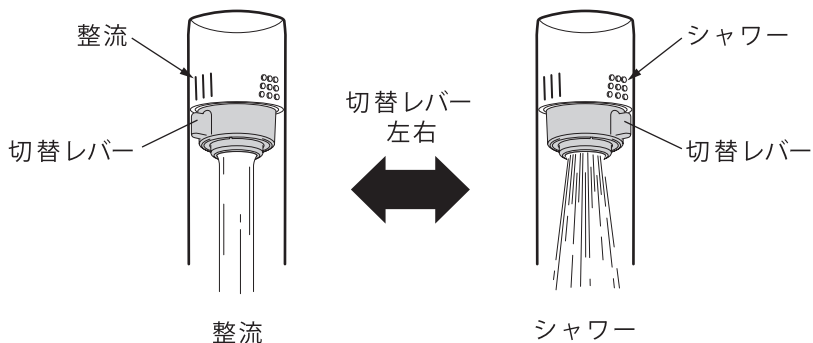
お好みの角度でご使用ください。

横向きや上向きで水を出し過ぎないでください。

※水の勢いで水栓本体が回転し、水がシンクの外に飛び出すおそれがあります。

## 整流・シャワーの切替え

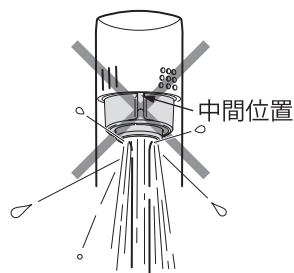
ハンドシャワーの切替レバーを左側にまわすと整流、右側にまわすとシャワーに切り替わります。



### 注意

- 切替レバーは、確実にシャワー位置、もしくは整流位置に切り替えてください。

※中間位置で止めると水が飛びはね、衣服を濡らすおそれがあります。



- 流量が少ないとシャワーにならない場合があります。

※この場合は、レバーハンドルを少し上げて流量を多くしてください。

## 凍結のおそれがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。凍結による破損は、保証期間内でも**有料修理**となります。凍結のおそれがある場合や、長期間使用しないときは、急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

### 凍結予防のしかた

水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお氷点下になることが予想される場合は次の対策をしてください。

#### 一般地の場合

凍結のおそれがある場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合があります。

- 少量の糸引き状の水を出したままにする。  
※シングルレバー水栓の場合は混合位置にしてください。給湯器を点火させる必要はありません。
- 配管などに保温材を巻く。



#### 寒冷地の場合

凍結のおそれがある場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

##### 準備

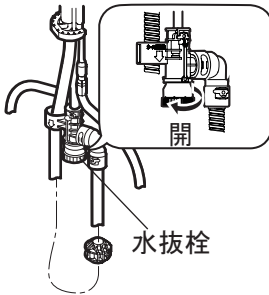
ご自宅の配管の水抜きをしてください。

必ず実行してください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。



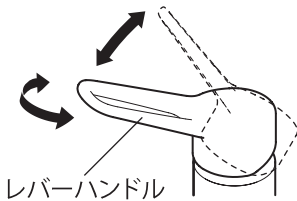
1. ハンドシャワーを引き出し、シンクの底に置く。

このとき、ためた水には入れないでください。

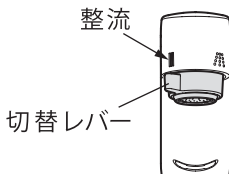


2. シンク下の水抜栓を矢印の方向に2～3回転まわして開ける。水抜栓が外れたら、逆にまわして取り付ける。

このとき、水が落ちますので、水抜栓の下にボウルなどを置いてください。

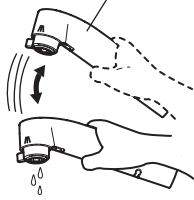


3. レバーハンドルを上げ、数回水側から湯側までまわす。



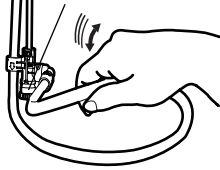
4. ハンドシャワーの切替レバーを「整流」に切り替える。

ハンドシャワー



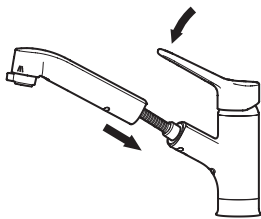
5. ハンドシャワーを振って水をよく切る。

水抜栓

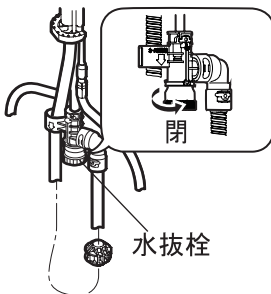


6. シンク下のシャワーホースを水抜栓より上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。

手をキャビネットや収納物にぶつけないようご注意ください。



7. 水抜栓から水が出なくなったらレバーハンドルを下げ、ハンドシャワーを元に戻す。



8. 水抜栓を矢印の方向にまわして閉じる。

# 日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

## 布などを使用したお手入れ

- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後水拭きしてください。
- 水栓の裏側や狭い隙間などは、30cm程度の薄い布の両端を持ち左右に動かしながら拭き取ってください。
- お手入れ後は、水滴や汚れ、洗剤を残さないように、から拭きしてください。

### 重要

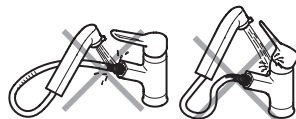
- 商品の表面を傷めるおそれのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- 研磨粒子入スポンジ、ナイロンたわし、ブラシなど
- シンナー、ベンジンなどの溶剤

※ヒビ割れや変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。

- ハンドシャワー引出口やレバーハンドル周辺に、直接水をかけないでください。

※家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



- メラミンフォームをご使用の際は、こすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイルなどをカビ取り剤などで洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
- 着色されたうがい薬などが商品に付いた場合は、商品表面の変色の原因となりますので、すぐに水洗いしてください。

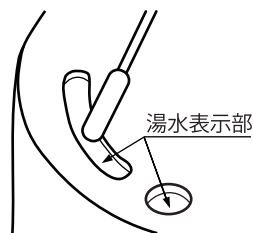
変色やキズがついてしまった場合は、取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターへお問い合わせください。

## ハンドル部の掃除

湯水表示部に汚れがたまった場合は、水で濡らした布や、綿棒などで拭き取ったあと、最後から拭きしてください。

先のとがったもので引っかいたり、強くこすったりしないでください。

※湯水表示部に傷がついたり、はがれたりする場合があります。



## 水の出口の掃除

水の出口は、常に清潔な状態を保つように心がけてください。ご使用中のはね返りや食材が水の出口に付着し、汚れる場合があります。熱湯消毒などをした清潔な歯ブラシなどでこまめに掃除をしてください。

## ストレーナーの掃除

切替ユニットのストレーナーにゴミが詰まると、吐水状態が乱れたり吐出量が少なくなったりします。ときどき、次の手順で掃除をしてください。

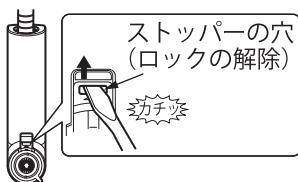
ストレーナーを掃除する際は、排水栓を閉じて行ってください。

※ストレーナーを紛失するおそれがあります。

ハンドシャワー



1. ハンドシャワーを引き出し、裏側を向ける。



2. ストッパーの穴に、指もしくはマイナスドライバーを入れ、ストッパーの矢印方向にスライドさせる。



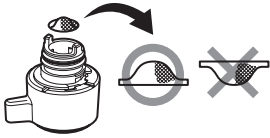
3. 切替ユニットを引っ張り、取り外す。

切替ユニットが固くて外しにくい場合がありますが、切替ユニットは回転させず、引き抜いて外してください。

※無理に回転させると、切替ユニットが破損するおそれがあります。

切替ユニットを落とさないよう注意してください。

※破損したり、キズがついたりするおそれがあります。



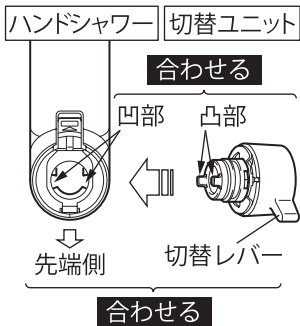
#### 4. 取り外した切替ユニットのストレーナーを掃除する。

ストレーナーが切替ユニットから外れてしまった場合は、向きに注意して取り付けてください。

※向きが正しくないと、ゴミが詰まりやすくなり、流量が少なくなる場合があります。

水を出し過ぎないでください。

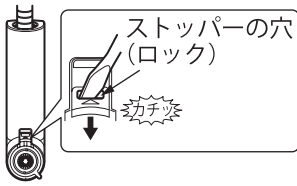
※水が飛びはね、衣服を濡らすおそれがあります。



#### 5. 切替ユニットの向きに注意しながら取り付ける。

・ハンドシャワーの凹部と切替ユニットの凸部を合わせて、しっかりと差し込んでください。

・切替レバーが、ハンドシャワーの先端側になるようにしてください。



## 6. ストッパーをスライドして、ロックする。

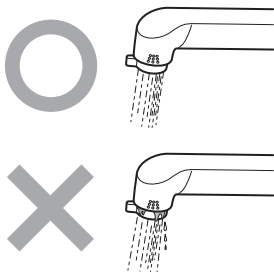
しっかりと、奥までスライドさせてください。

※奥までスライドできていないと、使用中に切替ユニットが外れてケガをしたり、漏水するおそれがあります。

※奥までスライドできない時は、手順 5. に戻り、切替ユニットの向きに注意しながら取り付け直してください。



## 7. 切替ユニットを引っ張り、外れないことを確認する。



## 8. 切替ユニットを取付後、正常に吐出することを確認する。

- 異常のまま使用すると、使用中に切替ユニットが外れて、ケガをすることがあります。
- 異常がある場合は、手順 5. に戻り、切替ユニットの向きに注意しながら取り付け直してください。

## 定期的なお手入れ

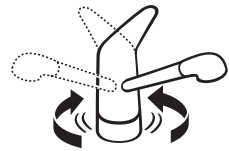
長くご使用いただくために定期的なお手入れをおすすめします。お手入れのときに異常を見つけた場合は、取付店（または販売店）または LIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。

また漏水している場合は、修理を依頼される前に止水栓または元栓を閉めてください。

### 吐水口部の操作性（月 1 回以上）

ときどき吐水口部をまわしてください。

吐水口部を長期間まわさずに使用すると、回転部に水アカなどが付着し、まわりにくくなります。無理にまわそうとすると、配管に負荷がかかり、漏水の原因となります。



### 水まわりの漏水（年 2 回以上）

洗面台やキッチンキャビネット内の水まわりの漏水がないか点検してください。

見えない部分は特に注意が必要です。

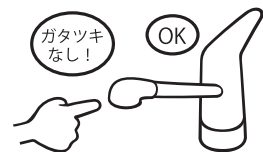
劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



### 水栓本体のガタツキ（年 2 回以上）

水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

水栓本体にガタツキがあるままご使用になると、配管に負担がかかり、漏水の原因となります。



## 散水板の掃除 (年1回)

年に1回程度、水の出口である散水板の穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ってください。

散水板に水アカやゴミがたまると、流量が少なくなったり、水切れが悪くなります。

- つまようじで取らないでください。  
※詰まるおそれがあります。
- 強い力で刺さないでください。  
※散水穴が変形したり、内部が破損するおそれがあります。
- 安全ピンの取り扱いに注意してください。  
※ケガをするおそれがあります。



# 定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご使用いただくため定期的な部品交換が必要です。取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。  
※部品交換の際は、商品状況により摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

## 摩耗劣化する部品の交換

- 部品が摩耗・劣化すると漏水などの原因となるため交換が必要です。  
※保証期間外の各部品交換は、**有料**になります。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）  
例）逆止弁、ハンドル、ハンドシャワー、シャワーホース、ソケット部、バルブ部（シングルレバーカートリッジ、バルブカートリッジなど）、パッキンなど

## 〈定期的な点検・部品交換のめやす〉

使用年

／ 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

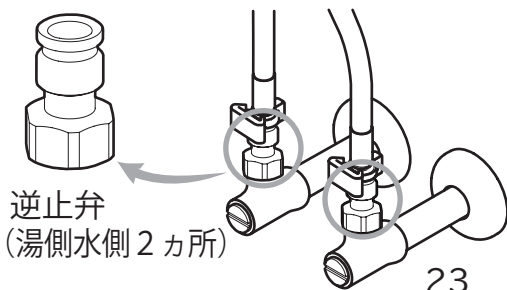
摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3年～5年）

買換え  
ご検討

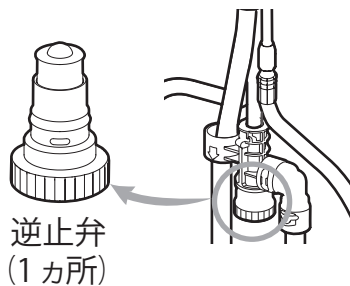
**逆止弁は3～5年を目安に交換してください。**

逆止弁が正常に機能しなくなると、水が逆流するおそれがあります。また漏水など予期しない不具合の原因となります。

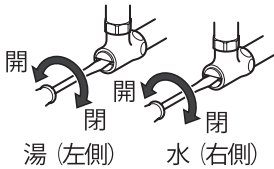
一般地仕様の場合



寒冷地仕様の場合



# 修理を依頼される前に



漏水している場合は、水側と湯側の止水栓を閉めてください。

その後、「アフターサービスについて」をご参照いただき、修理を依頼してください。

## 水を止めたあとに少しの間水が垂れる

故障ではありません。	ハンドシャワー内にたまった水、または浄水カートリッジが吸い込んでいる水が出てくるためです。	—
------------	---	---

## 温度が安定しない、温度調節がうまくできない

給湯機器は正常に作動していますか？	給湯器が正常に作動している場合でも、給湯器と水栓の配管距離が長い場合は、湯が出てくるまで時間がかかる場合があります。湯の位置にして水を出したまま、しばらくお待ちください。	—
レバーハンドルの位置を水側いっぱい、もしくは湯側いっぱいにしたときの流量が少なくありませんか？	湯・水の流量が正しく調整されていないと、温度調整がうまくできないことがあります。「止水栓による流量調整」をご参照いただき、湯・水の流量を調整してください。	P.27
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.17
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.22

湯が出ない		
レバーハンドルの位置は湯側にありますか？	湯が出る位置までレバーハンドルを湯側にまわしてください。	P.10
レバーハンドルの位置を湯側いっぱいにしたときの流量が少なくありませんか？	「止水栓による流量調整」をご参照いただき、湯の流量を調整してください。もしくは給湯圧力が十分か確認してください。	P.27
【ガス給湯器をご使用の場合】湯の流量は十分ですか？	湯の流量が正しく調整されていないと、給湯器が点火しないことがあります。「止水栓による流量調整」をご参照いただき、湯の流量を調整してください。それでも改善しない場合は、レバーハンドルを湯側いっぱいの位置にして開けてください。	P.27
【ガス給湯器をご使用の場合】水道水の温度は高くありませんか？	夏季など水道水の温度が高いときは、給湯器が点火しないことがあります。給湯器の設定温度を少し上げてください。	P.3

温度や流量の調節がしづらい		
流量は止水栓で適切に調整されていますか？	水圧が高いか、湯水の圧力に差があることが考えられます。「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.27

水栓から音がする		
レバーハンドルを早く閉めていませんか？	水を止めたときに『ドン』と音がするウォーターハンマー現象が考えられます。止水栓で流量を適切に調整いただくか、ゆっくりとレバーハンドルを閉めてください。	—
流量は止水栓で適切に調整されていますか？	流量が多いと、水が流れる流水音がします。「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.27

流量が少ない		
湯水の止水栓は十分に開いていますか？	「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.27
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.17
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.22

水の流れが乱れる		
レバーハンドルは十分に開いていますか？	流量が少ないと水が乱れる場合があります。少し流量を増やしてご使用ください。	—
散水板内部にゴミが詰まっていますか？	散水板内部にゴミが詰まると水が乱れることがあります。「散水板内部の掃除」をご参照いただき、ゴミを取り除いてください。	P.22

シャワー・整流がうまく切り替わらない		
止水栓を適切に絞っていますか？	水圧が高く、流量が多すぎることを考えられます。「止水栓による流量調整」を参照いただき、流量の調整を行ってください。	P.27

レバーハンドル操作が始めより重くなる		
故障ではありません。	ご使用していただく間(0～6ヵ月程度)に、内部の部品がなじむことによる現象です。	—

水栓の根元の部品(カバーリング)が回転する		
故障ではありません。	水栓を取り付ける際に、構造上必要な機能です。穴が水栓の後ろ側にくるようにしてご使用ください。	—

## 使用中レバーハンドルが勝手に動く

流量は止水栓で適切に調整されていますか？

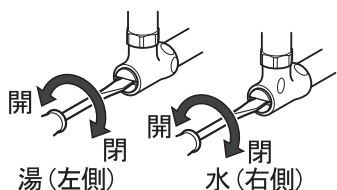
水圧が高く、流量が多過ぎることが考えられます。「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。



P.27

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、「アフターサービスについて」をご参照いただき、取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターまでお問い合わせください。

## ●止水栓による流量調整



1. レバーハンドルを湯側いっぱい位置にして全開にする。
2. 湯側の止水栓をまわして、整流位置で6L/min（500mlの容器（ペットボトルなど）をいっぱいにするのに約5秒）以下になるよう調節する。
3. レバーハンドルを水側いっぱい位置にして全開にする。
4. 水側の止水栓をまわして、整流位置で6L/min（500mlの容器（ペットボトルなど）をいっぱいにするのに約5秒）以下になるよう調節する。

# アフターサービスについて

## 1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に (P.24)」を確認してください。



**注意**

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。  
※ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。



(分解禁止)

## 2. 保証書と保証期間

この商品は、保証書がついています。保証書は、取付店（または販売店）で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

**保証期間は取付けの日から2年間です。**

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 3. 修理を依頼されるとき

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

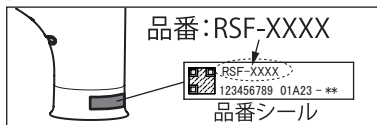
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（商品に表示、右記参照）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

## 4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。  
保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

## 5. アフターサービスなどについておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》

取付店/販売店または LIXIL修理受付センターへ

■WEB サイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00 ~ 19:00

(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などは緊急時のみ対応)

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

《使い方・お手入れ方法など商品に関するお問い合わせは》

■お客さま相談センター

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

土日・祝日 9:00 ~ 17:00

(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く)

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用いただけない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さまなどの個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社個人情報保護方針に記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「個人情報保護方針」をご覧ください。

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、取付店（または販売店）に修理をご依頼ください。

※品番・取付日/ご購入日・お客さま・取付店/販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：ハンドシャワー付シングルレバー混合水栓（品番：_____）	
保証期間 取付日より2カ年（_____）	取付日/ご購入日 _____年 月 日
お客さま おなまえ おところ おでんわ （_____）	取付店/販売店 _____様 TEL（_____）

お客さまへ  
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。  
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

## 無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、取付店（または販売店）にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご購入品などで、本書に記載の取付店（または販売店）に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
  - 用途以外（車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障および損傷などの不具合
  - 指定業者や施工説明書などに基づかない施工および工事に起因する不具合
  - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障および損傷などの不具合
  - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
  - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
  - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
  - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属屑、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
  - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
  - 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障および損傷
  - 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
  - 自然現象や住環境に起因する結露・梁み出し・かびなどの現象
  - 消耗品（浄水カートリッジ、パッキン、ヒューズ、電池など）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
  - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水质基準に適合しない水に給水したことによる故障および損傷不具合
  - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷
  - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入および水あか固着に起因する不具合
  - ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水质、音、振動など）に起因する故障および損傷などの不具合
  - 純正品以外の浄水カートリッジ使用による、水栓の損傷や不具合の場合
  - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
  - 本書に取付日/ご購入日・お客さまのお名前・取付店/販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、取付店（または販売店）または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10カ年です。

※保証内容はWEB取扱説明書でもご確認ください。なお、予告なく内容や条件を変更する場合があります。また、一部の商品で確認できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く）

※フリーダイヤルは携帯電話、PHS・IP電話などではご利用

できない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

■WEB修理依頼はこちら

※24時間依頼可能

■お電話でも修理を承ります

受付時間/9:00～19:00



TEL ☎ 0120-179-4111

FAX ☎ 0120-179-456

<https://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>